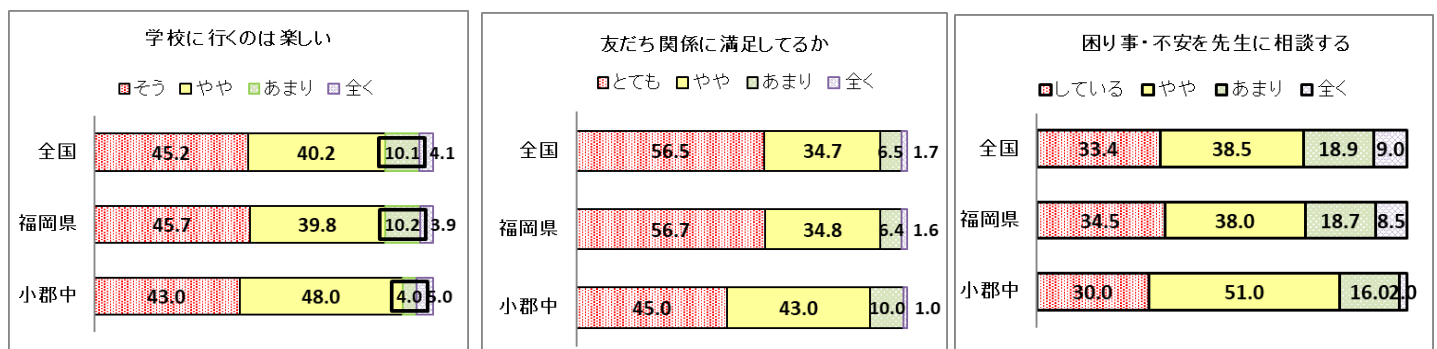




全国学力・学習状況調査【3年生生徒質問紙 調査結果】

4月23日(木)の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果についてお知らせします。生徒質問紙は、3年生の学習習慣や生活習慣などについて調査したものです。全国学力・学習状況調査は、3年生を対象に行われますが、学校全体の課題としてとらえて、本校をはじめ、全国の各学校は、課題解決に向けて1年間取り組んでいます。今回は、いくつか抜粋したものを載せています。

生活に関することについて

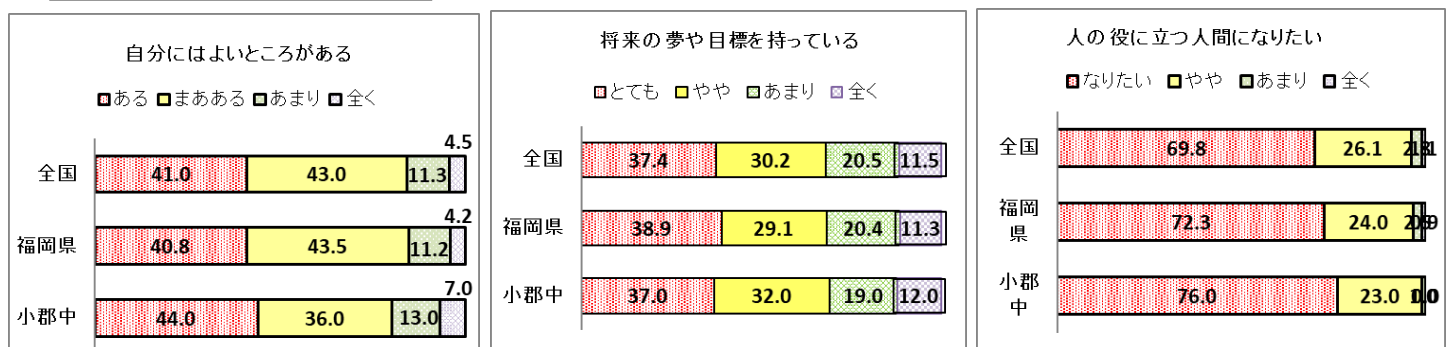


「学校に行くのが楽しい」と答えた生徒が「やや」と答えた生徒と合わせて91%おり、うれしく思いますが、その解答と対照的な9%の生徒がとても気になります。生徒の自己有用感を高め、ひとり一人の自己実現が図られるように支援をしていきたいと考えています。

「友だち関係に満足している」と答えた生徒は福岡県や全国に比べると約11%少なく、「やや」を合わせても90%を超えません。1小1中の良いところはたくさんあるのですが、友だちと過ごす9年間は、長く深い付き合いになるためにいろいろな課題もでてくるのかもしれません。

「困り事や不安を先生や大人に相談する」ことは「やや」まで含めると81%いますが、残りの19%の生徒が心配です。私たちは100%を目指していかなければなりません。

非認知能力について



非認知能力に関する質問の結果です。非認知能力は、学力テストでは、数値化できない内面的なスキルや特性を示したものです。非認知能力は、将来や人生を豊かにするために重要であ

とい
とされています。

「自分には良いところがある」と答えた生徒は福岡県や全国より多くなっていますが、自分の良
きに気づいていない生徒が 20%います。自己肯定感が高い人は、失敗しても自分の価値は変
わらないと感じつつ前向きに行動できる人だと言われています。「小さなできた」を毎日見つけて
言葉に変えていくような活動を取り入れていく必要があります。

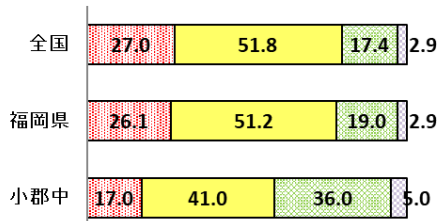
「将来の目標を持っている」と答えた生徒は「やや」を合わせて69%と高くなっています。今か
ら進路選択の時期に入りますが、「どこに行くか」よりも「そこに行き将来のために何をするか」
という考え方が大切だと思います。

「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒は「やや」を合わせて99%おり、3年生の心の
成長が見られて、とてもうれしく思います。

学習に関すること

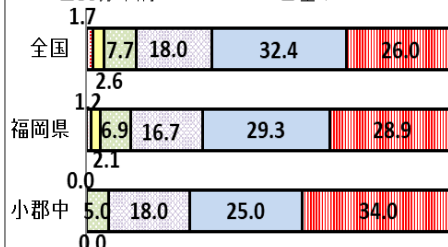
1, 2年 自分で考え自分から取り組んだ

■取組んだ ■やや ■あまり ■全く



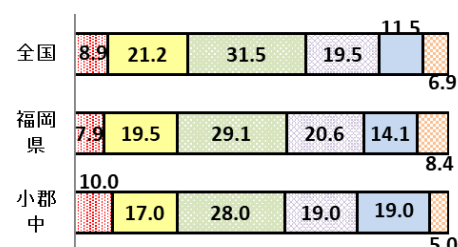
平日、ICT機器を勉強に使用しているか

■3h以上 ■2h以上3h未満 ■1h以上2h未満 ■30分以上1h未満 ■30分未満 ■全く



平日1日何時間家庭で勉強をするか (学習塾・家庭教師を含む)

■3h以上 ■2h以上3h未満 ■1h以上2h未満 ■30分以上1h未満 ■30分未満 ■しない



がくしゅう かん しつもん たすう
学習に関する質問は多数ありますが、上の 3点に絞って報告します。

1, 2年生の時に「課題を自分自身で見つけ、自分で考え自分から解決のために取り組むこと
ができたか」という質問に対して、「取り組んだ」「やや取り組んだ」合わせて 58%でした。福岡県
との差は、-19.3%で全国との差は、-20.8%と大きな差がついてしまいました。自分から考
え、解決のために取り組もうとする主体的な学習態度に課題があることが分かります。

「平日、授業などの学習で ICT機器をどのぐらい活用したか」という質問に対しては、「全く活
用していない」と答えた生徒が、本校は 34%でした。福岡県と比べ5.1%多く、全国と比べて
8%多くなっています。授業での ICT活用率においては小郡市内中学校の中でも本校は低い数
値となっています。授業中の適切な場で効果的に ICTを積極活用し、いかにアウトプットの活動
を多くできるかが私たち教員の課題です。

「平日1日何時間家庭で勉強をするか(塾などの時間も含む)」の質問については、3時間以上
と答えた生徒が 10%いる反面、30分未満の生徒と全くしないという生徒が合わせて 24%もい
ました。30分未満というのはほとんど勉強をしていないのに等しいのではないのでしょうか。学年
の約4分の 1 がほとんど家庭学習の時間を確保していないことが分かり大変残念に思いました
が、これは 4月の調査結果です。入試直前である今は、家庭学習時間が30分未満の生徒は
0%であることを信じています。

